

ユリ研究会いんば 新品種の作付けほ場視察会を開催

～248 品種から有望品種を選定！～

印旛農業事務所改良普及課 令和3年12月10日発

印旛地域のユリ生産者で組織する「ユリ研究会いんば」では、11月10日に新品種作付けほ場視察会を開催しました。視察会は、印旛地域の栽培環境に適し、市場ニーズにあった品種の選定を行うことを目的に、248 新品種を5名の生産者で分担して作付けし、開花期に合わせて実施しました。

当日は、市場関係者、球根会社、鮮度保持メーカーなど24名が参加し、会員のほ場を巡回しながら生育状況の確認と、意見交換を行いました。

参加者からは「コロナ禍で情報交換する機会がない中で、ほ場をみながら直接話すことができよかった」「今後はホームユース用に八重品種を導入すると良い」などの前向きな意見が聞かれました。

農業事務所では、今後も若手ユリ生産者の更なる発展に向けて支援をしていきます。



球根会社から説明を聞く生産者



リリポーズで関係機関と記念撮影